

24春ダイヤ改正詳細説明専門協

1 「かささぎ」「ひゅうが」一部廃止の根拠を明らかにされたい。

「きらめき」「かささぎ」「にちりん」一部編成両数見直し

会社)お客さまの利用実態等を勘案し実施する

組合)利用実態もわかるが、これまで快適に利用されたお客さまに不便をかけてしまえば、更なるお客さま離れも予想される。また、両数減になることでワンマンとなる場合にしっかり正しく切符を 買っていただくように対策もしっかりとってもらわなければならない。

2 鹿児島本線日豊本線及び及びその他都市圏等の更なる増発の見直しをされたい。

会社)計画通り実施したい。車両が無い中で、利用状況を見ながら検討は続けていきたい。

組合)増発と言いながら、今回のダイヤ改正はこれまでの臨時列車を定期と行っただけの改正であり、お客さまの立場に立った改正とは到底言えない。

急病人も、増加している。明らかに現在の混雑状況が大きな要因の一つである。

3 駅、販売・改札体制の見直し。エリア勤務制の導入についての会社の考え方を明らかにされたい。

会社)実務実態等を踏まえ、販売・改札体制見直しを行う。エリア勤務制は、これまでのサービスサポートで導入されていた体制を続けるものである。

組合)各駅では営業時間の短縮により、切符を買いにくい状況である。また、運賃遁脱に対し本格的に取り組む姿勢ならそれなりの駅体制としてもらいたい。

4 乗務員による、乗務員宿泊所清掃の指定拡大について

会社)業務実態を踏まえ、乗務員宿泊所の指定を拡大する。

組合)乗務員による、乗務員宿泊清掃は大きな負担である。乗務員が清掃を行わないで方向で考えるべきだ。

より良いダイヤ改正でなければならない！！